

■台湾：金山原子力発電所 1 号機が廃止

台湾電力公司 (TAIPOWER) は 2018 年 12 月 5 日、金山原子力発電所 1 号機 (BWR、66.6 万 kW) の 40 年間の運転ライセンスが終了し、翌 6 日より廃止措置に入ることを発表した。金山 1 号機は 1978 年 12 月に台湾初の原子力発電所として運開し、廃止となるのも台湾初である。なお、金山 1 号機は燃料集合体に損傷が発生したことを受けて、2014 年 12 月以降停止中であった。2019 年 7 月に運転ライセンスが終了となる金山 2 号機 (BWR、66.6 万 kW) と合わせて、台湾電力公司は既に金山 1、2 号機の廃止措置計画を提出しており、規制機関の原子力エネルギー委員会 (AEC) は 2017 年 6 月 28 日に計画を認可した。